

犬の健康用品病院に的

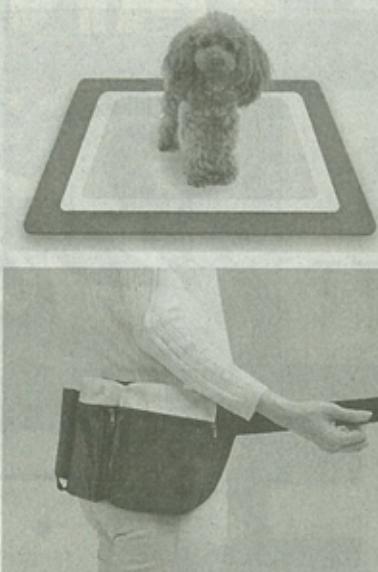
ダイヤ工業、マットやコルセット拡販

コルセットやサポーターを製造・販売するダイヤ工業（岡山市）は動物病院向けの販路を本格開拓する。既存の大用サポートの手間をとらず大用ケージ（おり）で使えるマットを開発した。ペットの健康に対する飼い主の関心が高まる中、これまで培った技術を生かして新商品を開発。取引先の動物病院数を5倍の5千軒に増やす計画だ。

ダイヤ工業は人の腰痛治療などに使うコルセットやサポーターを整骨院

取引先5倍5000軒めざす

ケージ用マットには人用サポートと同じ素材を採用した



散歩時に小物を入れられるようボーチと一体化した腰用骨盤ベルト

などに販売している。2015年4月から「anifull（アニフル）」のブランド名で犬用商品を展開し、犬の腰を支えるコルセット、足首に巻き付けるサポートなど12品目を扱う。

新商品として、犬を収容するケージ（おり）で使えるマット（アニフル）では大量のタオルや介護向けクッションの製品化も検討する。

「アニフル」ブランドでは17年4月、金属フレームなどで固定力を高めた犬用コルセット「わんコル」の新製品を追加した。飼い主向けの商品も展開。姿勢良く犬と散歩できるよう腰に巻く骨盤固定ベルトを18年2月に発売した。小物を入れられるボーチを一体化しており、見た目や使い勝手にも配慮した。

容するケージの内部に敷くマットを発売した。人用のサポートと同じく

発泡ポリエチレン樹脂を使って粘性や気密性を高くしたりしても破れにくくした。底部の堅さや冷たさを和らげられる。

犬用ケージでは大量のタオルや介護向けクッションの需要は大きめ、犬がかんだり、ひつ

年設立。18年3月期の売上高は40億円程度の見込みで、うち犬用商品の部門は3千万円程度にとどまる。まず19年3月期に開発を進める。

5倍超となる1億6千万円を目指し、その後は事業部化も視野に入る。犬の健康に気を配る飼い主は増えているが、椎間板ヘルニアなどの関節疾患は見た目で気付きにくい。健康を支えるサポートなどの需要は大きいため、大型犬向けや膝・肘用のサポートなどオーダーメード品を中心開発を進めることで、ダイヤ工業はみで、うち犬用商品の部門は3千万円程度にとどまる。まず19年3月期に開発を進める。

現在は全国約1万軒